

ニセコだより

～ニセコ町ふるさとづくり寄付へご寄付いただいた皆様へ～

日頃よりニセコ町へのご支援・ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

まちづくりへの共感、ふるさとへの想いや豊かな自然環境の保全など、ニセコに関わる全ての方が地域づくりに参加できるプログラムとして「ニセコ町ふるさとづくり寄付制度」がスタートして14年。多くの皆様から心のこもったご寄付を頂いていることに改めて感謝申し上げます。

今回の「ニセコだより」ではふるさとづくり基金の現状やニセコ町の近状をお届けいたします。

発行日：平成30年2月1日
 発行者：ニセコ町役場 企画環境課 経営企画係
 担当：澤田 円、齊藤 徹、山本契太
 連絡先：北海道虻田郡ニセコ町字富士見47番地
 電話0136-44-2121 FAX 0136-44-3500
 E-mail kikaku@town.niseko.lg.jp
 町のホームページ http://www.town.niseko.lg.jp



<現在のニセコ町>



総人口 5,198人（平成29年12月末現在）
 うち外国人住民 429人
 総面積 197km²
 観光・宿泊ご案内
 （株）ニセコリゾート観光協会
 ニセコ観光のことなら気軽にご相談を！
 電話 0136 - 44 - 2420



毎年、様々な事業に有効活用
 させていただいております。
 ありがとうございます。

<ふるさとづくり寄付>

—分野別寄付数— （平成30年1月現在）

寄付項目（分野）	寄付口数	寄付金額（円）
森林資源の維持、保全及び整備事業	575口	2,875,000
環境保全及び景観維持、再生事業	1893口	9,465,000
自然エネルギー及び省エネルギー施設整備事業	275口	1,375,000
有島武郎に関する資料収集及び有島記念館特別展開催事業	1256口	6,280,000
住民自治醸成及びコミュニティ推進事業	630.99口	3,154,960
項目未指定	3968.4口	19,842,040
合計	8598.4口	42,992,000

—寄付の使途状況—

- 平成19年
有島武郎農場開放記念文掛軸保存のためのレプリカ作成
- 平成21年
曾我森林公園の植栽
- 平成24年
有島武郎の自筆原稿、自筆署名入り著作集、有島武郎宛の書簡の収集
- 平成25年
有島武郎の自筆書幅の収集
- 平成27年
有島武郎の自筆書簡の収集
- 平成28年
小説家・有島武郎と画家・木田金次郎 パネル展開催、幼児センターの木遊具整備
- 平成29年
有島記念館上映システム・音響設備整備、ニセコこども館の教育支援活動備品購入
 幼児用レンタルスキーセット整備、ニセコ中学校音楽設備更新、
 少年消防クラブ員の活動服購入

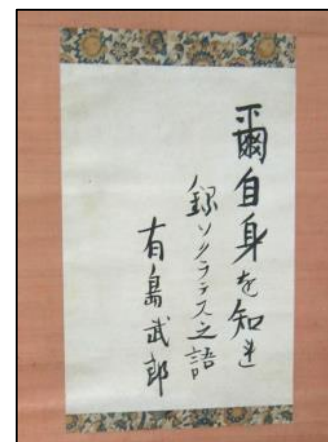
—寄付の状況報告—

上記の通り、現在合計で8598.4口、4299万2千円の積立額となっています。寄付額が最も多いのは「項目未指定（18,842,040円）」、次いで「環境保全及び景観維持、再生事業（9,465,000円）」、「有島武郎に関する資料収集及び有島記念館特別展開催事業（7,280,000円）」となっています。「項目未指定」が全体の約半分の割合を占めています。

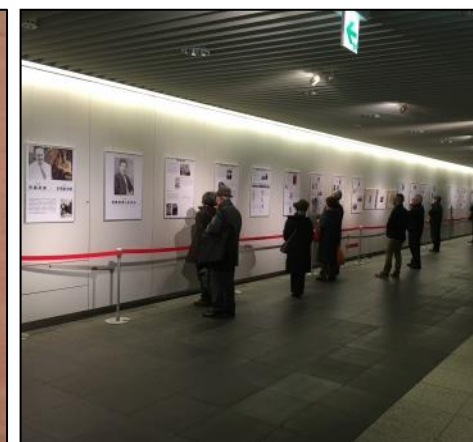
また、ニセコ町内や北海道内のみならず、北海道外からも多くのご寄付を頂いております。

皆様からお受けいたしましたご寄付は、積み立てし、ニセコ町のふるさとづくりに役立たせていただきます。なお、積み立てした寄付金を事業に活用した場合には、その内容をご報告させていただきます。

今後とも本町のため、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。



有島武郎の自筆書幅



有島武郎と木田金次郎パネル展の様子



幼児センターの木遊具で遊ぶ子どもたちの様子

<最近のニセコ町ニュース>

ニセコ町では毎月、様々なイベントが行われています。

今回は2017年の夏から秋に行われた「七夕のタベ花火大会」、「ニセコマラソンフェスティバル」、「ニセコハロウィン」「ジャックオランタン」点灯、そして「ニセコエクスプレス」ラストランイベントの様子をお届けします。

どなたでも参加できるイベントが盛りだくさんです。2018年も様々な催し物が予定されています。

みなさまぜひ、ニセコ町に遊びにいらしてください。

「ニセコマラソンフェスティバル」開催

今年で第35回を迎えた「ニセコマラソンフェスティバル」が9月17日に行われました。

子どもから大人まで、およそ1500人のランナーが参加し、秋らしい少し涼しい風を受けながら、ニセコ町内を駆け抜けました。



ニセコ駅前「ジャックオランタン」点灯

10月28日、29日にニセコ駅前ではジャックオランタンの点灯がありました。

これは毎年、中央町内会が中心となって、駅前や町内会の家の前をジャックオランタンで飾り付けしているものです。

点灯日にはカメラを手にした人たちが訪れ、ハロウィンの雰囲気を楽しんでいました。



最近のニセコ町

雪が降り積もり、寒い日が続いております。天気の良い日が多く、なかなか羊蹄山の姿が見られませんでした。しかし先日ついに快晴となりました。羊蹄山もニセコアンヌプリも真っ白なとても美しい姿を見せてくれました。写真は役場の屋上から見た羊蹄山です。

2018年がスタートして早いもので1ヶ月が経ちました。大寒波で各地で大雪などのニュースも耳にします。本年も皆様にとって素敵な1年になりますよう、お体にお気をつけてお過ごしください。



夏の風物詩「七夕のタベ花火大会」開催

8月5日に「七夕のタベ花火大会」が行われました。

テージライブや出店、雪の滑り台など子どもも大人も楽しんでいる様子が見られました。

また、夜には3000発の花火が打ち上がり、夏の夜空を彩りました。



「ニセコハロウィン」開催

ニセコ町の秋の風物詩「ニセコハロウィン」が10月8日に中央倉庫群で行われました。

衣装をした子どもたちが町内の施設をお菓子をもらって回りました。また、コスチュームコンテストも行われ、それぞれが思い思いの衣装をし、大人も子どもも大盛り上がりでした。



「ニセコエクスプレス」ラストラン

29年間多くの人に愛された「ニセコエクスプレス」が11月4日のラストランをもって引退しました。

ニセコエクスプレスは道内4番目のリゾート列車として昭和63年12月17日に運行を開始しました。「特急ニセコスキーエクスプレス」、「特急ニセコ」、「北斗（臨時）」などとして活躍し、ニセコ町だけではなく北海道全域の観光輸送に貢献しました。しかし、故障した際に老朽化により修繕が難しいことが判明し、9月に引退を発表しました。

ラストラン当日はニセコ駅で特産品の販売や紅茶の無料配布が行われました。また、引退を記念した記念乗車券の販売も行われました。

たくさんの方が旗を振ってお見送りし、ニセコエクスプレスの最後を見守りました。



<これからのイベント情報>

2月10日（土）
藤倉英幸ギャラリートーク
（有島記念館、14時）

2月10日（土）～25日（日）
藤倉英幸展
（有島記念館、開館9時～17時）

2月11日（日）
Scenic Yakiniku Night 2018 in Niseko
（ニセコ駅前温泉綺羅乃湯駐車場、17時）

